

2年 生活科 『とび出せ！町のたんけんたい』

単元のめあて

- 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所に関心を持ち、親しみや愛着をもって、人々と適切に接したり安全に生活したりしようとしている。
- 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所との関わり、人々と適切に接することや安全に生活することについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、それを工夫して表現する。
- 身近な環境や自分自身について、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わりをもっていることが分かり、地域のよさに気付く。

創造的な資質・能力の素地を育成するための視点

地域の店や施設へのインタビューを通して、町の人々と自身の関わりに気付くとともに、知ったことや気付いたことをまとめて、他者に発信することができるようにする。

創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

授業パートナーとの連携

地域社会の一員としての自覚を育み、地域への親しみや愛着を深めるため、雑色商店街を中心とした児童の通学区域の店や施設に見学・インタビューを依頼する。児童が事前に考えた質問をしたり、写真を撮影したりする。



学習サイクルや振り返りの工夫

自身の学習を振り返るために、振り返りカードを用いる。自己評価欄に4種類の表情を提示し、児童が授業内の自己評価に合うものを選択し、それを基に感想を記入することで、本時の振り返りと次にしたいことを明確にする。



ICTの活用

児童が能動的に町探検に取り組み、深く考えるためのツールとして、『ミッションサイト』を作成・使用する。「なぜ」「どのように」といった問い掛けや、複数の視点からの観察を促す多様なミッションを設定し、取り組んでいくことで、気付きの質を高める。



成果と課題

- 発表本番までのロードマップを見ながら学習状況を確認したり、毎時間の学習の終末に振り返りカードを記入したりしながら学習を進めることで、見通しをもちながら学習を進め、成果を実感することができた。
- 本単元は1年生に町の魅力を伝えるところがゴールであるが、1年生目線で学習を進めるのが難しい児童が見られた。児童がより相手意識をもてるように工夫していきたい。